

第13回 学生による政策論文表彰式

最優秀・加藤さん「耕作放棄地の活用案を評価」

学生の若き感性を市政に生かそうと提案募集した「第13回学生による政策論文」の入賞者表彰式が12月5日、坂の上の雲ミュージアムで開催されました。

政策論文は市内外の大学生から149件の応募があり、最優秀賞に加藤なつみさん(愛媛大3年)の「松山市民館連携型の市民農園で耕作放棄地を減らせ！」が選ばれました。

表彰式で野志市長は「これまでの提案も実際に事業化し、まちづくりに生かしています。今回、皆さんの提案も市政に反映させていきたい」と話しました。

その他の入賞者は次のとおり。(敬称略)

優秀賞Ⅱ重松香織(愛媛大3年)「松山市まちづくりベースマップ」で紡ぐ松山人のまちづくり・東賢吾(愛媛大3年)「三津浜のんびりサイクリングツアー」ポタリングで三津浜にハマろう」佳作Ⅱ河内ゆい(同志社大3



表彰式後の入賞者記念撮影

最優秀賞

「松山市民館連携型の市民農園で耕作放棄地を減らせ！」



加藤なつみさん

【論文概要】現在増加している耕作放棄地を利用し、子どもが家族と気軽に参加できる体験事業を地域・公民館・学生が連携し実施したい。

【受賞の声】公民館で実施している農業体験教室への参加経験から、第一次産業の現状と地域活性化の可能性を考えることができ今回の提案をしました。現在、大学で学んでいる都市農村交流の研究にもつながりたいです。

お問い合わせは、企画政策課 ☎948 6816・FAX 934 1804へ

見地区 地域で市長と話そう！

タウンミーティング No.14

12月2日開催・潮見公民館・参加者73人

住民の声

潮見は神社仏閣や歴史・民話が多く残る地区であること



スクリーンを使い地区の魅力を話す参加者

が自慢の一つです
・潮見をいい地区にしたいとまちづくり協議会準備会を立ち上げました

・独居高齢者が安心して住めるまちづくりを考えてほしい
・児童館を造ってほしい
・下水道の今後の整備予定を教えてください
※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します

参加者募集

第18回Ⅱ生石地区

【日時】2月10日(金)19時～20時

「宮内いよかん」と道に歴史あり

潮見地区は、市中心部から北に4kmの国道196号周辺にあり、人口1万6211人、世帯数4274世帯(平成23年12月1日現在)の地区です。明治以降、地区の基幹産業は稲作からミカン栽培に移り、昭和30年代に平田町の宮内義正氏が発見した新品種が「宮内いよかん」となります。この頃、温州ミカンの価格



平田町付近を走る愛媛マラソンの参加ランナー

暴落を背景に、当地区では一斉に宮内いよかんの栽培に転換し、全国的な産地へと成長しました。平田町に残る母樹は、宮内いよかんの発祥の地として市天然記念物に指定されています。



市指定天然記念物「宮内伊予柑母樹」

昭和40年代以降、国道整備に伴い、田園は住宅地となり人口が増加しました。近年、国道の4車線化や歩道整備のほか北条方面へバイパスが開通し、愛媛マラソンのコースになってからは、沿線でジョギングを楽しむ人も多くなりました。今年も愛媛マラソンでは、多くのランナーが当地区を走り抜けます。

みんなのわいわいトーク 参加者募集

市政についてみんなで話そう！

職員が皆さんの集まる場所に出かけ、テーマに沿った市の取り組みなど意見を話し合う「みんなの松山わいわいトーク」の参加者を募集しています。子ども版もありますので、ぜひご利用ください。

【期間】1月5日(木)～2月29日(水)。月～金 9時30分～21時30分。土・日・祝日 9時30分～18時(いずれも2時間以内)
【内容】94のテーマがあります。詳細はパンフレット(市民参画まちづくり課「市役所本館9階」・市役所本館1階案)



お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎948 6383・FAX 934 157へ

心ほのぼの 市民が見つけたいいこと情報

市民の皆さんから届いたほのぼのとするお便りを紹介します。

泉俊明さんは、約5年前から雨天時以外は毎日、針田町を中心に約2km以上の路上で散歩を兼ねて目につくすべてのごみを拾って帰り、きちんと分別して処分しています。ごみを拾う泉さんに、付近の住民は感謝をしています。(推薦者 山下正明さん)

※情報の紹介時に、推薦者の氏名を公開
【応募方法】郵送またはファクス・eメールで、推薦書(市ホームページにあり)を〒790 8571市民参画まちづくり課 ☎siminseikaku@city.matsuyama.ehime.jpへ



お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎948 6383・FAX 934 157へ